

《キーワード》 歯科麻酔学、麻酔科学、ペインクリニック

《担当者名》 照光 真

【概要】

歯科麻酔学特論Iで習得した診断、臨床手技をさらに難易度の高い症例にも応用できる能力を身につけると同時に口腔顔面領域のペインクリニックの診断・治療・研究が行えるようにする。麻酔管理上に支障のある症例に対しても周術期管理計画が立案でき、高度な麻酔管理方法をチームで施行できるようにトレーニングする。ペインクリニックでの診断方法を理解し、適切な治療方針が立てられるようにする。疼痛管理の基盤となる神経科学や薬理、解剖、生理、生化学、行動科学を学修する。臨床上の問題を研究テーマとして取り上げられるようにする。

【学修目標】

1. 麻酔管理上問題のある症例の評価と周術期管理ができる
2. 高度な麻酔手技をチーム医療で実践できる
3. 口腔顔面領域の疼痛や麻痺の診断ができる
4. 疼痛管理の基盤となる諸学問を理解できる
5. クリニカルクエッションを研究テーマに結びつけられる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	麻酔管理上の困難症例に対する評価と対応を症例と文献から学び、カンファレンスで討議する		照光 真
2	全身麻酔と鎮静法の高度な手技を上級医らとチームで施行する		照光 真
3	ペインクリニックでの症例を通して診断、治療を主治医と共に行う		照光 真
4	神経科学や薬理、解剖、生理、生化学、行動科学などに関連した文献抄読		照光 真
5	研究計画の立案		照光 真

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、臨床、臨床研究、発表等で評価

【参考書】

歯科麻酔学 第8版 医歯薬出版

【学修の準備】

歯科麻酔に関連した基礎系学問の理解、各種の治療を臨床応用する際の事前の準備、臨床で分からなかったことを自習する

【実務経験】

歯科麻酔を専門とする歯科医師：照光 真、吉本 裕代、大桶 華子、藤田 正尚

【実務経験を活かした教育内容】

臨床において歯科麻酔周術期管理を通じた指導